

憲法かえずに政治をかえよう！

かけはし

社会福祉法人山形虹の会
山形虹の会と福祉を良くする友の会

山形県鶴岡市民田字代家田100-1
TEL 0235-25-1131 FAX 0235-25-0810

介護老人保健施設かけはし 内

第25回 山形虹の会と福祉を良くする友の会 定期総会開催

七月二十七日、介護老人保健施設かけはし会議室を会場に、「第二五回 山形虹の会と福祉を良くする友の会（以下、友の会）総会」が開催されました。

今年度の総会は四年ぶりに来賓の方をお迎えし、友の会役員九名・山形虹の会役員一四名の計二四名の参加がありました。

総会の冒頭では、友の会三浦会長から、友の会市をほぼ毎月開催できていることや、先日開催されたボランティア代表者会議をきっかけに本格的に再開されたボランティア活動に対する感謝の言葉がありました。また、山形虹の会橋理事長からは、友の会会員の皆さんやボランティアの方からご協力をいただき、利用者の方の生活が豊かになっていることに感謝したい、これから法人と友の会が協力していきたいという挨拶をいただきました。

議長には介護老人保健施設かけはし齋藤介護課長が選出され、全ての議案が満場一致で承認されました。

その後、井田常務理事より二つの項目について報告がありました。一つ目は、法人方針の説明です。法人方針には、介護保険制度や社会保障制度を良くするために法人と友の会が共に行う署名等の活動や、友の会が窓口となり多くの方から



友の会監事・老健事務長 後藤 由衣子
(関連資料が二、三面に掲載されています)

ボランティアとして活動していただけのようにすることが明記されています。二つ目は、庄内まちづくり協同組合虹で行った「地域ニーズ調査」の結果についての報告です。その中に「介護が必要になった時にどこに相談したらよいか分からないうという方が多い。」というお話しがありました。井田常務理事からの報告を受け、友の会と山形虹の会の職員が協力し、地域に情報発信していくことの重要性を改めて実感しました。

これからも、法人とともに地域の医療・介護の充実を求める運動を行いながら、山形虹の会の活動を支援していきたいと考えております。

《ボランティアの皆さん》



～抹茶の会～



～歌の会「シャンテ」～



～フラダンス「フラ・ハラ・ウクレイ」～



～琵琶演奏「一水会」～

かけ橋

物価高騰とインフレの原因を突き止めるためアメリカの上院の委員会で五月に公聴会が開かれ、その中で物価高騰と企業利益の増加が同時進行していることは偶然のことなのかと問いかけています。さらに開かれた公聴会では、企業の価格決定力のアップにより暴利が追求されているとの報告がなされています。

企業間の競争があるときは原価に占める利益率は比較的小さく抑えられているが競争が少なくなると利益率はアップしてきます。

ちなみに一九六〇から一九八〇年代の原価に対する企業の利益率は二六％強だったが二〇二一年には七二％に達している。そしてその利益は株主への配当や経営者への報酬として使われています。特に顕著なのは巨大企業の最高経営責任者（CEO）への配当が急増、米国の三五〇社の大企業の調査では、賃金に対するCEOへの支払い比率は一九六五年の二一倍から二〇二二年三四四倍へと増えている。

又国際労働機関の調査によると賃金の伸びと労働の生産性の伸びのギャップは大きく拡大、特に日本ではより深刻になっていきます。これによると一九九九年から二〇二三年までの一人当たり実質賃金の上昇率は米国で三四％、英国で四二％、ユーロ圏平均で十％であるのに対し日本はマイナス二％と極端に低い結果になっています。

物価高も、低賃金も作法的になされていると言えないでしようか。これには具体的な賃上げ指示、上限価格の設定など政府の指導が求められているのでは。

誌「いつでも元気」は、正職員の購読率100%を継続しています。

(2)高齢者運動とその他の活動

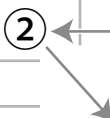
- ・7月 健康保険証廃止の中止を求めマイナンバーカード取得の強制に反対する請願署名
- ・7月 高齢者のいのち・健康・人権を脅かす75歳以上高齢者窓口負担2割化の中止を求める請願署名
- ・11月 自治体キャラバン学習会へ1名参加
- ・11月 自治体キャラバン（鶴岡市・庄内町・三川町）へ1名参加

(3)その他の活動

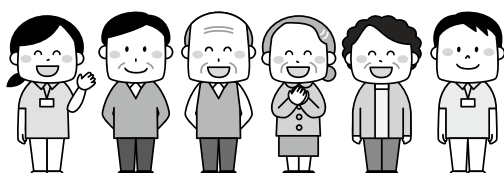
- ・9月 介護請願署名2023キックオフ集会
- ・10月 介護ウエーブ署名
- ・10月 医療生協やまがた健康まつりチケット普及
- ・10月 軍事費の拡大ではなく社会保障の拡充を求める請願署名
- ・1月 全日本民医連能登地震支援募金の取り組み
- ・2月 平和、いのち、暮らしを壊し、市民に負担を強いる軍拡、増税に反対する請願署名

2. 組織を強化する活動

- (1)共同組織強化月間を中心に部門ごとに目標を設定し、会員拡大にとりくみ、新たに67名の会員を迎え会員総数3,295名に到達しました。
(年間目標50名：対比134%)
- (2)月刊誌「いつでも元気」は、例年通り、新入職員入職時、共同組織強化月間中に重点的に読者拡大に取り組みました。読者を6名（休業明け再購読含む）増やしましたが、退職や産休等による購読中止が16名あり、読者総数は111名に減少してしまいました。



- ・法人第三者委員会へ委員を1名派遣しました。
- (2)ボランティア活動
- ・米、りんご、トマト、さつま芋、菓子類等の販売を老健事務室前で実施しました。さつま芋の袋詰め作業は、デイケア利用者から協力をいただきました。
 - ・ニュース折りボランティア活動を不定期に実施しました。主にデイケア利用者をお願いしてニュース折り作業を手伝っていただきました。
 - ・お茶会は実施しませんでした。
- (3)ボランティア交流会
- ・コロナ感染予防のため中止しました。2024年度は早期にボランティアとの交流再開を目的とした集会を開催する予定です。
4. 友の会市とサークル活動
- (1)友の会市は4月に活動を再開し、7月を除いて毎月開催できました。
- (2)サークル活動
- ・コロナ感染予防のため見合わせました。
5. 平和を守る運動
- ・10月 軍事費の拡大ではなく社会保障の拡充を求める請願署名
 - ・12月 ガザへの人道支援緊急募金



山形虹の会と福祉を良くする友の会 第25回総会議案

2023年度山形虹の会と福祉を良くする友の会活動報告

〈はじめに〉

4月から友の会市を再開、ほぼ毎月開催することができました。本当によかったです。しかしまだまだ感染の危険は続いています。私たちも注意しつつ活動していきたいと思えます。

1月1日に発生した能登の大地震は改めて自然災害の恐ろしさや人とのつながりの大切さを感じさせました。コロナや地震、これからもあるだろう自然災害に対処するための、暮らし、医療、福祉、介護などの仕組みや社会の在り方が一層大切になっているように思えます。24年度が楽しい活発な活動・交流ができるように力を合わせていきたいと思えます。

〈主な活動〉

1. 福祉を良くするための活動
- (1)共同組織の活動
- ①新型コロナウイルス感染症は5類に移行しましたが、施設においては感染を広げない為に役職員が日々奮闘しています。特養（6月）、グループホーム南館（7月）、グループホーム（7月）、3月には再び特養でクラスターが発生し入退所の制限を行って来ました。そのような状況の中で、友の会活動は法人の感染状況を確認しながら毎月の友の会市など少しずつ活動を増やすことができました。
 - ②例年4月に開催している総会は、延期し7月29日に実施しました。講演等は見合わせ、役員を中心に15名が参加しました。
 - ③10月1日～11月30日、共同組織強化月間は、期間中、新会員を67名増やし、年間目標を達成しました。月刊



- (3)ニュース「かけはし」は、2,300部を隔月定期発行。（第136号～141号）
- ◇編集会議 12回実施
 - ◇発行部数 2300
 - 内訳 郵送250 請求書同封330
 - 団体配布：共立社 医療生協1100
 - 個人配布185部
- (4)友の会役員会は、5月15日、7月19日、9月11日、11月13日、1月15日、3月18日と計6回実施しました。
- (5)全日本民医連及び山形県民医連共同組織連絡会への参画
- ・11月2日 山形県民医連共同組織連絡会第13回定期総会・第14回活動交流集会（会場：天童グランドホテル舞鶴荘）に6名が参加した。記念講演は貧困・格差による健康問題と共同組織の役割をテーマとして京都大学の近藤尚己先生のお話を聞くことができました。友の会活動への参加は健康に結びつくとの話は印象的でした。
 - ・5月12日、9月28日、1月26日、3月19日と共同組織連絡会役員会（テレビ会議）に出席した。8月4日には同役員会が西川町のあいべで開催され出席しました。
- (6)役員研修、交流会など
- ・県連の共同組織担当者研修会（7/21こびあ）を検討しましたが実施しませんでした。
 - ・1月15日(月)に友の会新年会（グランドエルサン）を開催しました。法人役職員、友の会役員合わせて14名が参加しました。

3. 山形虹の会事業への協力・支援活動

- (1)諸事業への協力
- ・「新入職員歓迎会」「互助会暑気払い」「かけはし祭り」「かけはし忘年会」に参加しました。



2024年度山形虹の会と福祉を良くする友の会活動方針

<はじめに>

2023年10月に再発したイスラム組織ハマスとイスラエルとの戦闘は現在も継続、イスラエルの攻撃ですでに3万5千人を超すパレスチナの一般の人々が殺されています。また2022年2月にはじまったロシアのウクライナへの武力侵略は現在も続いています。いずれも武力で土地や住民の命を奪い自国の権益を広げようとする行為に対する確執から来ていると思います。

人間の欲、いや、一握りの権力者の思惑でこのようなことが繰り返されることのないように私たち自身も目を見開いて見ていなくてはならないと思います。我が国でも自民党の裏金問題で、すでに政治がゆがめられていることを考えるとその感を強くします。

コロナの感染で対応された職員の皆さんのご苦勞に感謝いたします。コロナが収まり一刻も早く正常業務に戻り、利用者の皆様が安心して利用できるようになることをねがっています。

引き続き利用者の皆さんや職員の皆さんのお力に添えたらと思います。

<具体的な活動>

1. 福祉を良くする活動

- ・全国、県の共同組織と連携し、医療・介護制度の改善のための活動にとりくみます。
- ・キャラバンなどを通し、行政への働きかけをします。
- ・核兵器廃絶、平和を守り、社会保障を良くする署名活動にとりくみます。

2. 友の会の組織を強化する活動

- ・引続き会員や月刊誌「いつでも元気」の拡大にとりくみます。
- ・ニュース「かけはし」の定期発行と内容の充実にとりくみます。

2023年度山形虹の会と福祉を良くする友の会収支決算書

(対象期間：2023年4月1日～2024年3月31日まで)

(収入)

(単位：円)

| 科目 | 予算額 | 決算額 | 増減 | 摘要 |
|------|---------|---------|--------|----------------------|
| 繰越金 | 349,180 | 349,180 | 0 | |
| 会費 | 50,000 | 67,000 | 17,000 | 新会員67名 |
| 寄付金 | 10,000 | 54,000 | 44,000 | 2名の方より頂きました。 |
| 雑収入 | 70,000 | 95,722 | 25,722 | いつでも元気還元金 31,960円 |
| 共同活動 | 400,000 | 400,000 | 0 | 法人より |
| 合計 | 879,180 | 965,902 | 86,722 | |

(支出)

| 科目 | 予算額 | 決算額 | 増減 | 摘要 |
|--------|---------|---------|----------|-------------------------|
| 印刷費 | 195,000 | 193,100 | ▲1,900 | ニュース136号～141号 |
| 通信費 | 120,000 | 121,511 | 1,511 | ニュース送料・案内切手 他 |
| 事務費 | 80,000 | 9,238 | ▲70,762 | 会員管理システム保守更新6,072円 他 |
| 会議費 | 90,000 | 127,996 | 37,996 | 総会9,738円 役員会118,258円 |
| 活動費 | 220,000 | 27,400 | ▲192,600 | 県連共同組織連絡会費 16,712円 他 |
| 事務局活動費 | 20,000 | 0 | ▲20,000 | |
| 雑費 | 154,180 | 0 | ▲154,180 | |
| 合計 | 879,180 | 479,245 | ▲399,935 | |

次年度繰越(収入-支出) 965,902 - 479,245 = 486,657

会計監査報告書

山形虹の会と福祉を良くする友の会
会長 三浦 澄雄 様

友の会会則により、2024年7月10日介護老人保健施設会議室に於いて2023年度の会計監査を実施いたしましたので、次の通りご報告いたします。

記

会計に関する諸帳簿及び領収書などを監査した結果、正確に処理されていたことを認めます。

2024年7月10日
会計監事 菅原 唱子
会計監事 土田 光恵

6

5

(支出)

| 科目 | 予算額 | 前年度予算額 | 増減 | 摘要 |
|--------|-----------|---------|---------|---------------|
| 印刷費 | 195,000 | 195,000 | 0 | ニュース6回発行 |
| 通信費 | 140,000 | 120,000 | 20,000 | ニュース送料・案内切手代 |
| 事務費 | 80,000 | 80,000 | 0 | 会員管理保守更新、インク代 |
| 会議費 | 130,000 | 90,000 | 40,000 | 総会、役員会 |
| 活動費 | 220,000 | 220,000 | 0 | 県連共同組織活動費 |
| 事務局活動費 | 20,000 | 20,000 | 0 | |
| 雑費 | 231,657 | 154,180 | 77,477 | |
| 合計 | 1,016,657 | 879,180 | 137,477 | |

2024年度山形虹の会と福祉を良くする友の会事務局の変更について

2024年度山形虹の会と福祉を良くする友の会役員

| | | | |
|----|------|---------|------------------|
| 顧問 | | 須藤 賢三 | (元友の会会長) |
| 役員 | 会長 | 三浦 澄雄 | (山形虹の会理事) |
| | 副会長 | 五十嵐 みどり | (山形虹の会監事) |
| | 幹事 | 巖見 励子 | |
| | | 友野 光雄 | |
| | | 森 眞里子 | |
| | | 大久保 久美子 | |
| | | 渡会 和春 | |
| | | 廣瀬 智恵子 | |
| | | 難波 米子 | |
| | | 本間 裕子 | |
| | | 小林 美恵 | |
| | | 後藤 由衣子 | (山形虹の会老健かけはし事務長) |
| | 事務局 | 佐藤 征子 | 山形虹の会職員 |
| | 会計監事 | 菅原 唱子 | |
| | 会計監事 | 土田 光恵 | |

8

- ・定期的に役員会を開催し学習に努めます。
- ・事務局も共同組織の研修会等に参加します。

3. 山形虹の会事業への協力・支援活動

- ・かけはし祭り、かけはし忘年会、かけはし文化祭など各事業への協力を行います。
- ・各種委員会へ参加します。

4. ボランティア活動

- ・ボランティア交流会を開催します。
- ・各種ボランティアの組織と支援協力に努めます。
- ・ボランティア参加者を増やす働きかけを強めます。

5. 友の会市を開催し、利用者に楽しみを提供します。

6. 平和を守る運動

- ・メーデーへの参加・平和行進へ参加します。
- ・いのちと暮らし・憲法を守るための署名活動・集会・学習会へ積極的に参加します。

2024年度山形虹の会と福祉を良くする友の会収支予算書

(対象期間：2024年4月1日～2025年3月31日まで)

(収入)

(単位：円)

| 科目 | 予算額 | 前年度予算額 | 増減 | 摘要 |
|------|-----------|---------|---------|---------------------|
| 繰越金 | 486,657 | 349,180 | 137,477 | 前年度より |
| 会費 | 50,000 | 67,000 | ▲17,000 | 新会員50名 |
| 寄付金 | 10,000 | 54,000 | ▲44,000 | |
| 雑収入 | 70,000 | 95,722 | ▲25,722 | 友の会市売上 いつでも元気還元金 |
| 共同活動 | 400,000 | 400,000 | 0 | 法人より |
| 合計 | 1,016,657 | 965,902 | 50,755 | |

7

相談の窓口から

負担軽減確認証について

今回は「負担限度額認定証」について紹介しました。

今回は、介護保険利用者負担分の4分の1(25%)が軽減される「負担軽減確認証」についてご紹介します。利用できるサービスや該当条件などに違いがあります。該当となり「負担軽減確認証」が交付されましたら、ご利用の事業所へご提示ください。

利用できるサービス

★印は、虹の会のサービスにあるもの

- ・訪問介護(ヘルパー) ★訪問入浴 ・通所介護(デイサービス)
 - ★短期入所生活介護(ショートステイ)
 - ★特別養護老人ホーム など
- ※介護老人保健施設やグループホームでは利用できません。

【該当条件】

- ①市民税非課税世帯。
- ②年間収入が単身世帯で150万円以下。
- ③有価証券やゴルフ会員権などを所有していない。
- ④負担能力のある親族等に扶養されていないこと。
- ⑤介護保険料を滞納していないこと。

【申請に必要なもの】

- ①介護保険被保険者証と負担割合証
- ②世帯全員の通帳
- ③年金支給通知証等
- ④医療保険証(75歳未満の方)
- ⑤本人確認ができる証明書類

【申請窓口】

鶴岡市長寿介護課

ご不明な点などありましたら、老健相談室や居宅介護支援事業所など『かけはし』へお気軽にご相談ください。

老健かけはし 支援相談員 柴田 優子



スポーツ大会



毎年恒例の行事「スポーツ大会」が各部門で開催されました。この行事は、楽しく体を動かす機会として利用者の皆様に好評な行事です。

ショートステイかけはしでは、風船バレーを行いました。初めに、ケガをしないよう準備運動から行いました。風船バレーは、ネットを挟んだ相手側に向かって打つのですが、思うように風船が相手側に届かず、苦戦されている様子も見られました。しかし、ふわふわ浮遊する風船に翻弄されながらも、「それっ」と掛け声をかけながら一生懸命プレーされていました。終了後、「久しぶりに運動して疲れました。」とお話しする方もいらっしゃいましたが、たくさん笑い声が響き「またやりたい。」等の声が聞かれ、楽しく参加していただけたことでした。



来年度も、利用者の皆様から喜んでいただけるような行事を企画したいと思います。

ショートステイかけはし
岡部 知里

鶴岡田川地域社保協 学習講演会



七月二三日、社会保障制度を良くする鶴岡田川の会の学習講演会に参加してきました。災害弱者の方の避難に係わる支援を踏まえ、地域で支え合う体制づくりなどについて学習しました。

①医療生協やまがたの職員による能登半島の災害支援ボランティアの報告では、仮設住宅の環境整備など支援は継続的に必要とのことでした。②鶴岡市防災安全課の講演では、行政の避難指示待ちではなく地域の現状で判断

し命を守る行動をとること、又、南海トラフ地震では一週間以上の備蓄が必要との情報がありました。③鶴岡市地域包括ケア推進課の講演では、支援を希望する方は事前に個別避難計画を作成してルールを決めておくことと支援がスムーズになるとのことでした。

災害弱者の方の避難には、情報を見える化し様々な角度から支援していくことが大切だと感じました。

災害対策委員 栄養科 松澤悦子

風水害訓練を実施しました!

七月十九日、第二回 山形虹の会風水害訓練を行いました。

今年度は、ショートステイかけはしを対象として、地域に大雨警報が発令された場合を想定し、老健三階へ垂直避難の訓練を行いました。初めての垂直避難訓練でしたが、実際の災害時さながらに緊張感を持ち、利用者様十九名が約二十分間で老健三階へと安全に避難する事が出来ました。

訓練後の反省会では、「職員同士声掛け合いながら協力していた。」「応援要請の連絡

が不十分だったので、連絡体制を見直さなければならぬ。」など、さまざまな意見が出されました。

また、市役所の担当職員からは、「災害の影響でエレベーターが使えない場合もあるため、そういった場合の想定もしておく方が良いですね。」と、実際の災害時には更なるマンパワーが必要などのお話もありました。

いざという時のために、今回の訓練の反省を活かしていきたいです。

災害対策委員会 事務局 齋藤祐佳

職員募集

正職員募集

看護職員、介護職員、言語聴覚士

- 勤務時間(例) 8:30~17:00、休憩1時間 16:30~9:00、仮眠4時間
 - 休日 年間122日
 - 給与・賞与 法人規定による
- ※パート等希望の方もご相談ください



※上記の他、正職員、土日休み、日勤のみ、短時間、Wワーク等々、様々な働き方のご相談をお受けしております。問合せ：社会福祉法人山形虹の会

特別養護老人ホームかけはし 日曜日の夜間パート介護職員【1名】 夜勤専門介護職員

- 勤務時間 20:00~6:00、休憩1時間、実働時間9時間
- 勤務日数 日曜日、1ヶ月4~5回
- 給与 1回:10,200円~9,800円 (深夜割増含む)
- 処遇改善手当等 月額:15,000円~8,000円
- 給料目安 月額:66,000円~57,000円
- ボーナス等 夏期、年末
- その他 通勤手当及び制服代を支給

パート介護職員【3~4名】

- 勤務時間 1日4~6時間程度
- 勤務日数 週1日~5日
- 給与 時給950円~920円
- 処遇改善手当等 月額:15,000円~8,000円
- 給料(例) 1日4時間、週4日の場合 月額80,000円~72,000円
- ボーナス 夏期、年末
- その他 通勤手当を支給

問合せ：社会福祉法人山形虹の会 TEL.0235-25-1131 本部 渡部・原田

先日発行しました「広報誌かけはし2024年7月号」におきまして、掲載内容に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

訂正記事：社会福祉法人山形虹の会令和5年度決算状況報告

誤：令和5年度の決算は、サービス活動収益が1,093,259千円(予算比36,085千円の減)、サービス活動費用は1,081,123千円(予算比33,046千円の増)で、サービス活動外収益・費用を加えた経常増減差額(経常利益)は18,964千円の黒字となりました(予算を14,012千円超過、前年実績は20,818千円)。

正：令和5年度の決算は、サービス活動収益が1,093,259千円(予算比36,085千円の減)、サービス活動費用は1,081,123千円(予算比33,046千円の減)で、サービス活動外収益・費用を加えた経常増減差額(経常利益)は18,964千円の黒字となりました(予算を4,952千円超過、前年実績は20,818千円)。